

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	急性期看護学特講演習（研究コース） Seminar/Practice in Critical Care Nursing			担当 教員	江川 幸二（専任） 平尾 明美（専任）
開講年次	1～2年次	単位数	6単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	ゼミ・実習
選択必修	選択	時間数	270時間			使用教室	
授業の目的及びねらい							
急性期看護学領域における自己の研究疑問や関心テーマに沿って実習施設および病棟を選択し、急性期にある患者・家族を受け持ち、実習をおこなう。実習内容と関連する看護理論や援助モデルなどの文献検討、および学内でのゼミを通して、疑問や関心をもっている現象の探求や、援助モデルの開発につながる研究課題の明確化をおこない、修士論文研究計画書の作成につなげる。							
授業のキーワード							
急性期看護、看護理論、援助モデル、研究課題の明確化							
講義回数	授業内容及び計画						
	<p>I：実習方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 急性期、周手術期、およびクリティカルケアを必要とする患者・家族の看護に関する自己の疑問や関心に沿った文献検討を実施し、学内でのゼミでの発表やディスカッションを通して実習計画書を作成する。 実習計画書の内容から適切と考えられる施設および病棟などを選択し、指導のもとに施設への実習依頼、交渉をおこなう。 実習は学内の講義との調整がつく時期とし、2週間程度の実習を2回おこなう。 実習内容と実習後の文献検討を通して、現象の解釈および援助内容の評価などについて考察したことを、学内のゼミでプレゼンテーションし、討論することで深める。 必要に応じて、追加実習や追加での文献検討をおこなう。 <p>実習施設 神戸市立医療センター 中央市民病院 および 西市民病院 西神戸医療センターを中心とし、関心テーマに応じて選択する。</p> <p>II：実習内容、文献検討、学内でのゼミを通して最終的に実習レポートを作成する。</p>						
テキスト	なし						
参考文献	適宜紹介する						
成績評価の方法	実習における目標達成状況と取り組みの内容（50%）、学内でのゼミでのプレゼンテーションや参加態度（20%）、課題レポート（30%）で評価する						
教員から学生へのメッセージ	研究コースの学生は、修士論文のテーマの焦点化や研究方法の探求などを目的としていますので、実習内容を研究計画書につなげるということを意識して取り組んでください。そのためにも早くから十分な文献検討をする必要があります。						